

地域等からの意見聴取結果

配布数:2,865世帯

意見提出件数(一部回答を含む):68件 回答率:2.37%

(1)児童生徒の通学の負担(通学時間、通学手段等)及び通学路の安全に関すること

小学生、特に低学年の電車通学には、安全面等でとても心配します。
スクールバスについても同じです。

(へき地にいた経験から)小学生が電車やスクールバスを利用する際のデメリットは、子どもの放課後の時間が電車やバスの都合に合わせざるを得なくなり、制限されるという点。

生駒南第二小を廃校にしないで、南小もそのままにすることを望みます。スクールバスも必要ないし、小さな子どもが国道を渡って南小に通う必要もありません。

第二小校区から南小への通学路は危険が多すぎるし遠い。南生駒駅周辺、小瀬橋ー旧銀行ー南小の通学路は問題が多く、特に雨風の強い小瀬橋歩道は大人でも怖い。第二小校区から徒歩だと長距離になり、歩道がない。車がたくさん通る道で小学生の通学は問題。
スクールバスは、その運行の時間の範囲に児童の活動が制約される。

子どもたちにとっても地域住民の顔が見れる対応が大事ある。今でも不審者情報がたびたびある状況であり、校区が広がることは、通学時間等、安全面を考えれば、南第二小と南小を統合するのではなく、子ども達の事を第位置に考えるならば、統合が決まったかの様に進めないでもらいたい。高学年ともなれば、クラスのお友達の家に遊びに行ったりすることもあり、今の南小から南第二小まで校区が広がれば親にとっても放課後の子ども達の様子が届きにくくなる事も含めて心配が広がる。電車やスクールバスで対応するからOK、通学支援するからOKの問題だけですまなくなる。

- 距離が遠くなれば時間もかかり、宿題や習い事・勉強時間に支障をきたす。
- スクールバス・電車等にかかる費用は負担していただけるのか？
- 通学の時間・距離が増えると危険もその分増える。

左記に賛同します。
168号線バイパスの整備により、安全な通学路の確保が図られる。
希望者には通学用バスを確保すれば良いのではないか。

二小校区から南小までだと距離も遠くなるので、低学年の間は、徒歩だと通学時の心配も出てくると思うのでスクールバスが出るなら安心出来ると思います。
(ただ6年間だと帰りの時間も違ってくると思うので、バスの時刻が合うのかが心配)

通学路の安全を確保していただきたいと思います。
スクールバスの導入していただきたいです。

通学の安全を第一にすることは大切ですが、許される範囲の中で集団登校(大人・上級生と下級生との触れ合い)体力をつけるためにも歩くことの大切さが大半かなと思う。

校区でも住民自体が少なくなっており、それぞれの関わりも持つようにしてお互いに気にかける関係作りが必要ですね。

南小学校区の住んでいるが我々に何を提案しているのか分からない。

通学は毎日のことであり、安全・時間・環境は大切です。小学校1・2年生など低学年に4kmの通学は不適當、2km以内に学校だけでなく、学童保育もあります。
電車・スクールバスなどもあるほか、駄目、自分の足で歩ける範囲が大事

<p>低学年が雨の日に重い物(ピヤニカ、週末には体操服等)を遠い道のりを歩いて持って帰るのは考えられない。 ○スクールバスについては、時間に遅れた子どもはどうするのか? ○南小周辺にバスを止める場所は? ○統合になると学童も増えるのでは?(部屋等は?)</p>
<p>現時点で特に意見はございません。</p>
<p>私達の子供達が通っていた頃の南小を思い出します。同級生には、電車通学で危険を伴ったり、通学時間のこと等、大変でいつも帰路のこと等を思う思う彼等とできなかったと思います。今、スクールバスの導入も一体との見を走るんでしょう。整備、坂道を流れ下る雨水等大変です。</p>
<p>学校再編により第二小校区から通学する生徒は大変な負担となります。(特に低学年) 東山や萩の台駅から電車を通うとなれば南生駒駅から南小に至る通学路は、歩道が狭い上、小瀬橋や国道168号の信号を渡る必要があり、決して安全ではありません。通学する生徒が増えれば、もっと危険が増すでしょう。</p>
<p>最初に学校が建設され住宅が建ち、子ども達の数も増えました。今、子どもの数が減り学校を再編していく。全てが納得できるようには難しい問題だと思えます。 でしたら残された子どもの安全を考えて行くのが正しいことでしょう。このあたりのバスの台数は少ないので、スクールバスを導入するのが良いと思います。</p>
<p>スクールバスの導入はメリットが多いが乗り遅れ等に対応はきちんと考えないといけない。</p>
<p>スクールバス等の導入検討は必要だと思うが、歩くことは体力づくりにもなるため。一概にバス等の利用が良いとも言えない。 また、歩道が狭く危ない場所もあるので、改善が必要と思う。</p>
<p>保護者への負担増にならないように。</p>
<p>通学路の幅が狭い所が目立つので、整備は大切だと思います。 通学時間も今よりもいっそう広範囲になる可能性があるので電車やスクールバスの導入は賛成です。</p>
<p>児童・生徒の通学に十分な配慮がなされるのであれば、基本的に二校の再編に賛成です。</p>
<p>安全で過度な負担にならないければと思います。また、放課後に友人と遊ぶことも有ると思うので通学时以外にも安全面や校区が広がることでの不安がなければと思います。</p>
<p>行き届いた措置ですね。</p>
<p>(1)通学路の安全性 (2)児童への負担増 (3)教育環境の改善が確実に期待できるのか。単純に考えると今までのように教師の目が届き易い少人数体制の方が好ましいのでは? ※(1)(2)は、対策が後回しにならないのかが気にかかる。</p>
<p>スクールバスの費用はどこが負担するのかという疑問を持ちました。</p>
<p>○電車よりスクールバスの活用がいいかなと思います。市内を回っている(たけまる号)など活用できるといいかなと思います。ルートやバス停など。 コミュニティバスの充実も出来ればうれしい。 ○集団登校も考えて欲しいです。</p>
<p>未就学児の子が2人いますが、特に集団登校も無く、1人で帰って来る低学年の子らも見かけます。非常に不安要素も多いので、是非スクールバスの導入をお願いします。</p>
<p>スクールバスを導入するとしても、小学校低学年とかに限定する・等よく検討されることが大事だと思います。 安全は最優先ではありますが、通学も成長の一環として大事だとも思います。</p>

南第二小学校ができるまでは、萩の台から歩いて南小学校まで来ていた。小学校に毎日30分以上の歩いての登校は無理がある。スクールバス乗車等選択ができるよう対応が必要
スクールバスの導入は容易にやるべきではないと思います。コスト面はもちろんのこと、あらゆる面で自由度が無くなってしまいのす。公共交通(電車・バス)の活用、場合によってはコミュニティバスの拡充等で対応すべき。もちろん安全確保は重要ですが、子どもにとって通学も成長のばですから、自力で通学することが重要。
通学路の安全・環境整備は大切だと思います。各家庭・状況も様々だと思いますので、当事者の意見を聞くことや、柔軟に対応していくことが必要だと思います。
スクールバスの導入は是非検討して欲しい。不可能な場合は、集団登校が良いと思います。又、ボランティアによる登校・下校時の見守りも必要だと思います。
通学の安全と負担軽減を最優先に、コミュニティバスなどの活用も。
168号のバイパスの道が広がった時、横断歩道より、歩道橋を作った方が良いと思う。それか、ボランティアの人に登下校の時間お願いする。
子どもの安全を最優先で希望します。
遠方からの通学生に対しては、適当な配慮が必要と思う。
合併することで、通学路の心配があると思うので保護者が安心して通える方法を考えてほしい。
遠距離の場合はスクールバスが良い。小学生だけでも良いと思うが、中学生はクラブ活動の帰り(特に冬期)は心配である。負担は日々の荷物も大きい。教科書他、最低限にできないか検討してほしい。他自治体ではランリックといったランドセルより軽いものを指定しているところもある。
○安全な歩道 ○冬は学童の子どもが帰る頃は暗いので街灯を。
校区が広くなると、特に低学年は体力的にも負担が大きくなると思います。高学年になっても、下校時間が遅くなり冬期は暗くなるのも早いため、スクールバス導入が望ましいと思います。
電車の活用やスクールバスの利用については、利用する家庭の経済的な負担にならないように、補償されることが望ましいと思います。
望ましい通学距離で安全に通学できるのかが一番の心配。現在でも南小のまわりで道が狭く危ない箇所があるので、綿密な環境整備や見守り隊の増員が必要になりそう。
○電車の活用には反対です。公立小において電車を利用しないと通学できないのは、危険だと思います。 ○スクールバスの導入において、十分な予算が確保できる見込みはあるのでしょうか。
体を動かして、体力をつけれる一番大切な時期に、スクールバスで通学は時間の無駄で車酔いするなど全ての子どもが利用できるわけではない。スクールバスで人数が多いと1時間位バスに乗らないと通えないのは反対である。その時間があれば、1時間早く帰れば宿題をしたり、外で体を動かせる。大切な時間の無駄は反対です。
二小の校区と合わせて、南小の山の上の子に対しても配慮して欲しい。(スクールバス)
電車利用やスクールバスの導入が必要になるほど通学区が広がることは原則として望ましくない。
スクールバスを出す。 生駒市幼稚園バス・コミュニティバス代用できないか?
児童の減少により、学校再編は仕方ないと思います。まず、通学路の安全を第一に考えて欲しい。

整備・電車・バスなどの導入は、個人の金銭的な負担はないですね。
南小学校区の私たちとしては、南第二小学校区の地域の皆さんが学校統廃合に反対するという固い意志でのぞんでおられることを、まず尊重したいと思います。このことにより(再編)2つの校区の地域の意思が分断されるような事態は決して望まないからです。課題は、幾つかあります。 ①通学環境の変化による児童生徒の過剰な負担は当然おこりうることだと思う。電車通学の子も多くなるだろう子等にとって、朝のラッシュ時(生駒高校生も多い)は低学年の子らにとっても精神的疲労からはじまり、今までの生活リズムも変わり、なれない学校での生活も相当の負担になることが考えられる。地元の小学校でゆったり、のびのびと教育を受けていた子等が、なぜ突然に学校がなくなるのか理由も理解できないまま、放り出される。逆な立場で、南小が第二小に統合されるようになったら・と考えると、とても人事とは思えない。このような事態を「配慮」するとは、どういう対応を考えておられるのかお伺いしたいです。通学路も決して安全なものではない。一人がやっとの歩道が長く続く通学路。この歩道が安全でゆったりとした道中に修復される目途があるのか?スクールバスも検討とあるが、特に下校時間の異なる小・中・高学年の対応はどうなるのか。
児童生徒に対しての安全な通学路の確保。 電車の活用やスクールバスの導入に対して料金の問題。
高齢化と共に子ども達の減少は将来的に反比例していくのは目の前にあります。我が校区内の事にて関心はありますが、当事者間の意思・考え方も十分考慮され納得のいく方法をまとめて下さい。
生駒南小学校区では、交通量が多いにもかかわらず、歩道の設置がない幹線道路が大変多く、子ども達だけで行動する時に大きな不安を抱えています。自動車と歩行者の分離を強く要望みます。
昭和50年代の南第二小学校が新設される前、小学生が近鉄生駒線を使い通学している姿が記憶にあります。遠距離通学をさせるのはいかがなものでしょうか。このご時世連れ去り等児童が事件に巻き込まれる可能性がおおいに考えられます。どのように萩の台から、特に低学年の児童を通学させるのでしょうか。スクールバスの導入の検討とありますが、すべての児童に保障することが大切だと思います。電車の活用とありますが、交通費は市が負担されますか。学童の児童たちのことも考えておられますか。
1年生にとっては6年間通うことになりますので、安全で通学時間など負担にならないように配慮をお願いします。
市民の負担が無いように(金銭)導入して頂きたい。
○通学路が狭い。 ○歩道が無い所もあり、整備が必要 ○再編するなら、通学が遠くて大変な地域にはスクールバスが必要だと思う。
学童保育に通う子ども達は、冬季に17時に学校を出て帰宅します。冬期の17時はもう暗いです。15時頃に帰宅する生徒さん達には、当番の親御さんが見守りに巡回しますが、学童保育の子ども達の帰宅時間には巡回の親御さんがいません。この差は何なのでしょう。
(2)学校再編の環境変化に伴う児童・生徒及び保護者への対応に関すること
生駒市が進めようとしているとしか思えない生駒南第二小学校廃校の問題は、現在は地域協議会で話し合うようですが、二小の児童・保護者、そして地域の方々の気持ち・意見に沿って話し合うようにしてほしいです。
二小校区の子ども達が別々のクラスに分散されることにより、地域に戻って遊んだり交流する機会が減るのではないかと。統合した方が人間関係の形成に悪影響が出る気がする。(関係性が希薄になる)
今は少人数学級が求められています。なぜ、学校再編という、南第二小をつぶし、南小へ統合するのか。そうすれば必要のないスクールカウンセラーも配置する必要もありません。
第二小校区の自治会・民生児童委員・PTAなど地元の代表の全て統合に反対している。市が地元の意見を聞いて決めるとし、このペーパーでも存続を前提とした記述があり、この設問は不要だと考えます。

学校統廃合される側、する側などスクールカウンセラーなどいろいろ言われているが、一番いいのは、今のまま、南第二小と南小の現状でやるのが一番である。
○クラスが増える分、生徒の数も多くなるので、勉強が遅れると先生の目が届かないので学習の質が落ちるのではないのでしょうか。 ○生徒の人数が多いのでいじめ問題が出てくるので心配 ○今でも配慮できていない事が多い中、再編すると、もっと出来なくなるのではないのでしょうか。スクールカウンセラーの配慮が必要になる事自体問題だと思います。
今から第二小・南小を統合するとしても計画まで2年工事2年を要し6年後を目途に統合すれば、保護者も心づもりができるのではないか。
統合するなら事前に説明等があれば良いと思います、
二校の統合には反対します。 それぞれの学校での卒業ができるようお願いしたいです。
学校の再編を何年計画でを考えておられるのかは知りませんが、再編そのものを段階的に一歩ずつ保護者や地域住民の協力を得ながら共に進めていくことが無理なのかなと思います。
少ない人数の良さの一つになることでの良さがあると思います。 一つになったことで使わなくなった学校周辺の地域の人の流れも考えていきたいです。
大きな変化について、具体的に知りたい。学年ごとに1クラスずつ増えるだけというが、全体で200名増え、養護教諭・特別支援学級の教諭の負担等はどうなるのか。詳しく説明してほしい。児童の数が増えるのに、このような対応ができるのか疑問の思う。
コロナ禍で証明された少人数学級も大切、有効です。 小規模校で先生の目がよくいきとどき生徒一人一人が力を発揮できる。 先生がすべての生徒の名前の様子を知って教育するすてきな学校です。生徒と保護者のつながりも深くなり良い学校づくりができます。
小規模だからこそ今の子どもの学年は男女みな仲が良くとても良いと思う。 統合するなら南小トイレも増やす必要があるのでは?(今の人数でもトイレは列ができているらしい)
基本的に左記の内容に賛同しますが、保護者に対する日々の学校生活に関する積極的な情報発信や相談対応は、学校再編の有無に関わらず行って欲しいです。
「学習環境や生活環境に大きな変化が生じ」ることが問題であって、「生徒の心のケア」をするためのスクールカウンセラーの配置は2の次ではないでしょうか。スクールカウンセラーが必要なのはコロナ禍の今こそ必要と思います。むしろ一番懸念されるのは、学童保育ではないでしょうか。迎えに来られる保護者、遅い時間に下校する生徒の負担は大きい。
いきなりの統合として問題がでます。数十年先の計画でいかないと結局心の被害にあうのは子ども達だと思います。そしてスクールカウンセラーの前に親と先生です。
子どもは柔軟に環境になじむと思うが、生徒が増えることで、いじめや仲間はずれ等が起きやすくなると思う。先生が気づかない見て見ぬふりをする等が起きないようにして頂きたい。
変化により、不便になることは多々あると思いますが、過渡期にはやむを得ないことと考えます。
在校生への対応はもちろんですが、中学生は制服や体操服なども有り、再編時は戸惑うと思います。ただでさえ少ない子どもが移動したり残ったりでは、更になくなると思うので、学校生活も行事などがどうなるか心配です。心のケア以外にも問題は有ると思います。
学校再編は当たり前、環境の変化に対応できる子どもに育ててください。
小学校、再編できることなら現状維持が望ましいと思う。再編するメリットがはっきり見えてこない。しっかりと先を見据えてのことなのか、どうしても必要なものか疑問に思う。
スクールカウンセラーに相談しやすい環境を作ってあげるべきだと思います。

再編が決まったら、どのようなスケジュールで進んでいくのか早めに知らせてほしい。
再編により吸収される地域との話し合いを重ねて理解を取っていく。
学校再編は少子化が進む中ではやむを得ないことと思います。再編により生じる問題は予測できないことも多いと思われませんが、その都度迅速に解決し、先送りしないようにしなければならぬと思います。
話しやすい環境が必要だと思います。話せる機会を提供できれば良いのではと思います。
賛成です。
30人学級実現に対して？
両学校ともこども園の子が多いので、知っている子達も多いのではと思う。
実施前・後の定期的な状況報告で安心につながる。 子どもはやり方(低学年は特に先生のやり方一つで戸惑ったりする)が変わることで大きな負担となる中で、実施前より決まっているもの(または決められるものは決め)は予行練習していく。
事前に南小と第二小の児童が学年ごとや学校全体で交流する機会を多く持てば、子ども同士は新たなスタートの不安などが軽減されると思います。子ども達が楽しく安心して生活を送っていることが保護者の安心にもつながると思います。
再編で小中一貫校となった場合、中学校の部活の人数や内容は大瀬中と同じくらいになりますか？
子どもは大人より柔軟性がある。 (在籍する学校で卒業・スクールカウンセラー)は、大人の考えだと思う。
小規模校の良い所である対応とか、きめ細やかな目配りは残してほしい。
在籍する生徒、1人1人の意見に寄り添いつついくこと。 そしてなによりも生徒1人1人が自由に意見を述べ選択できる場が保たれる事を望みます。
市民の負担が無いように(金銭)導入して頂きたい。
多感な時期なのでカウンセラーなどを配置して、しっかり対応できる体制を整えてほしい。
(3)通学区域の見直しに関すること
これは南小と南中との小中一貫校の話でしょうか？
望ましい学校規模という美しく見える言葉を使っていますが、少人数学校やいろんな規模の学校があつてそれぞれの特色で運営すればいいと思います。
市としての「少子化対策」や「地域振興策」を抜きに考えられないのではないのでしょうか。周辺の緑多い優れた環境を一層高める施策を示しながら、同時に利便性(買い物など)を追及しつつ、第二小の存続と地域コミュニティの核として育てていくことが最良の道だと考えます。
望ましい学校規模として、出している前提そのものが35人学級→30人学級と変化していく事は明らかで、成り立たなくなる。国会でも文部省の大臣が30人以下学級が望ましいと答弁。欧米諸国を見てもこの流れは否定できない。 コロナ禍の中、今後とも蜜を避ける事が求められる。南小は運動場も狭く、学童保育を見ても、AとBの2つに分かれ、蜜が心配される中、更に南小の子ども達の教育環境が悪くなる。
今通っている通学路でも草が伸びていて避けて通ると車道に出てしまい危ないので、草を刈ってほしいと要請しないとしてくれないし、対応も遅い。もっと子どもが通る道をちゃんと把握してもらいたい。再編するともっと難しいと思います。
校区の見直しも合わせてすべき、特に南中校区は西壱分と小瀬とすべき。 部活動への影響が出ている。 大瀬中との規模のバランスがとれていない。
通学区域の変更をしないと学校再編も難しいと思います。

そもそも「望ましい学校規模」という考え方に賛成できない。
学校再編と通学区域の変更、この2つの違いは何？全体的に文書の意味が分かりません。
大瀬中と南中の校区については、検討が必要と思います。小学校区との関係も考え、人数調整が必要。
通学道を先に考えるべきかと思います。歩道の無いような道や大人も渡りたくない橋、それを見直すのが先かと。
壱分小学校の生徒数が多いので、校区見直しは良いと思う。
数年かけてきちんと協議すれば良い。
通学区域が時々に変更されるのは反対です。
子ども達や保護者にとって最善の方法であることを望みたいと思います。
賛成
学校再編とは異なる方策の具体策が不明。
住民の状況や動態は流動的に変化しているので従来の区域にこだわらず、一度区域そのものを見直す時期にきているのかもしれませんが。
生駒市内でも同じ市立なのにも関わらず、教育の公平さに疑問もあります。 通学校区の変更はもとより、生駒市の教育水準や環境見直しも必要と思います。
同感です。
南中の校区範囲を広げて、南中の生徒数を増やしてほしい。 大瀬中学が遠くなる子もいるので考えてほしい。
見直しが必要だと思います。南中の方が近い人でも大瀬中に通う方がいるので、通学区域の変更をしていただきたいです。
学校再編とは異なる方策であっても、無理に通学区域の見直しをする必要はないと考えます。児童・生徒にとって最も安全に通学できることが一番大切です。
財政状況はありますが、現校舎の老朽化による修理改修がある場合や環境整備を考えると、長い目で見ても、南小と第二小の間あたりに適切な広さのグラウンドを持つ新校舎の検討が必要になるかもしれない。
自宅から最短経路で通える場所に通学できるように配慮いただきたいです。 例)現在、A校が通学区域ですが、B校の方がA校よりも近いです。町名だけで区域分けするのではなく、1件ごとに通いやすい学校選びをしたい。
自治会のしほりより、通学時間の方で(安全性)を優先して欲しい。
望ましい学校規模(中規模?)が維持できるのかどうかは必ずも言い切れない。小規模校はそれなりに工夫して学校運営を続ければ良い。 (例えば、大阪市では人口ドーナツ化のため、都心の小学校を統廃合したが、数年を経ないでマンション急増のため、過密化してしまった。時代によって人口の変化は起こりうる。南第二小が無くなれば地域の魅力が減じ、もっと人口減が進行するだろうが・・・)
通学区域の変更が必要。居住の住所ではなく、学校までの距離で再編すべき(特に中学校)
学校規模は、世界の先進国の国々と比べてみると日本は1クラス35～40人という過密状態である。コロナ禍で35人学級実現となったが、先進国のIクラス10～20人かにもみると、市も先取りで、1クラス25～30人定数にしたら学級増になり、小規模校でなくなる。未来の子どもに予算をつけたらどうですか。もっと大事にするべきです。 コロナ禍で少人数の教育が求められてきました。もともと一学級の人数を減らし、小規模の学校がこの時代に合っているのではないのでしょうか。一学級35人になっていきますが、それでも多いと思います。今の半数の学級人数であれば、コロナ禍でも、そのまま授業ができたと思います。現実、クラスを半分に分けて授業をしたりしてました。(ニュースより)
生駒南小学校は大瀬中と生駒南中に分かれます。南中が人数が少なすぎるので、南小校区の生徒はそのまま南中に行くように通学区域の見直しをして検討してほしいです。

(4)学校と地域に関すること

現在、災害等が多く発生する中、地域の学校は避難所としてもとても重要です。そんな中で小学校を無くすのには反対です。

学校跡地及び施設の活用とも関係するが、学校は防災拠点としての機能があるので、今後起きうる災害を想定した活用方法が重要になってくる。よって統廃校という結論に至ったとしても、システム構築が十分になされた上で行うべきであり、いつ災害が起きても機能できる状態で維持されるべきである。

防災拠点というなら、なおさら遠い所に学校を統合して、拠点が遠くなるのは、安全上も望ましくありません。近くに拠点がある方がいいです。第二小学校はそのまま残して下さい。

コロナ禍を通して、学校の存在と役割の大きさが改めて見直されています。未来を担う子どもたちが地域に位置づけることが大切にされ、少人数学級の教育的な価値についても再評価されています。規模の大きな学校では、運動会で我が子・我が孫を見つけるのも困難ですが小規模校では一人ひとり紹介されるなど心の通いが見られます。コミュニティスクールは何より教職員と児童の関係が充実していくこと、子どもの学び育ちがひとり残らず保障されていくこと、そのために働くことを第一に考える必要があります。

学校は地域にとってもコミュニティの要の一つである。何よりも、南第二小の父兄や地域住民からも「統合しないで」「僕達の学校を無くさないで」の声が多くあると聞いている。コロナ禍の中、今年の春から夏にかけて、クラスを半分に分けて、学校で子ども達が蜜にならない様に対応されました。望ましい学校規模が示されているが、1クラスの人数が今後35人学級→30人学級へと変わっていく事、考えれば今示されているのが望ましいと言えなくなる。子ども達の通学負担、学ぶ環境を考えるならば、「南第二小」の父兄、地域の声を第一に考えるべきである。南小は市内の小学校の中でも比較しても運動場は狭く、統合したら現在の南小の子どもたちの学びの環境が悪くなるのは明らかであり統合すべきではない！

どちらかの学校を拠点とした場合、竜田川があるので、川が氾濫して危険が多い。
歩いて避難場所に行けなくなる。

左記に同感。

ただし、学校の再編はあくまでも子ども達の教育環境を良くするために、地域のまちづくりと一線を画すべきである。

コミュニティスクールの推進をお願いしたいです。

地域づくりの核となる小学校をなくすという考えが信じられない。しかも二小校区ではすでにすばらしい地域コミュニティが構築されていると思う。今から南小が取り組もうとしていることを既に行っており、学ぶべきはこちらだと感じている。これから進む少子化に対する対策がこのようなものかと思うと生駒市の子ども達の将来はどうなるのかと思う。

学校はその地域の文化です。生活の拠点です。統廃合によって学校が消えると地域にマイナスの大きな変化が起きます。若い世代が住まなくなり、高齢化が進む。災害対策、避難所に困る。文化行事や体育行事が持てない。卒業生の思い出が消える。

学校まちづくりと密接不可分というなら、学校統廃合するのはおかしい。その前に地域に子育て世代が来てもらえる街づくりをした方が良いと思う。

自治会は、小学校区単位にして地域の交流をはかれるようにと思います。又、避難所についても同じです。

再編による第二小の廃校は、地元民にとって、地域の教育・文化の拠点・防災拠点を失うこととなります。特に若い世帯が子育てしにくい地域となり、いっそう高齢化が進むのではないかと思います。

あくまでも理想ですね。問題はこの再編を行うにあたっての計画ではなく、むしろ進めていく人々の体制かと思っています。

現状でいえば反対せざる得ない。

避難所の数が今どうなっているかわかりませんが、少ないように思います。今後は(5)にも関係しますが、増やしていく必要があるのではないのでしょうか。

再編当初、これは仕方がないです。少し長い目で見れば地域の学校として認められると思います。

緊急時の避難場所は自宅から近く安全性が高いことが必要だと思うので、学校再編が行われ、今の避難場所より遠くなる場合は柔軟に対応した方が良いと思います。

有難いです。

地域に学校再編の理解をとりつけない限り、学校と地域との協働は不可能であり、再編についての話し合いが大切。
避難所は別として。地域コミュニティの核云々については、根本的に見直すべきだと思います。学校は教育機関の中核であり、地域の交流の場を兼ねるというのは基本的に誤りだと考えます。学校はあくまでも子どもの教育の場であり、地域住民がその教育に関わるというのは、ありますが、教育以外の用途で使用すべきではない。
避難場所が遠くなることにより、お年寄りや体が不自由な方の避難が困難にならない様にしてほしい。
大規模災害が起こった場合、避難所(学校)が長期的に使用されてしまいます。いつ起こるが分からない災害。避難所をコミュニティセンターや学校などに限定せず、一般の施設も含めた条件を満たす建物をあらかじめ選定、確保する方がバランスがとれるように思います。
学校は最も重要な地域の拠点と思う大切である。
生駒市は、「住みよい市町村」として全国的に注目されています。第二小が無くなると、第二小校区に若い世代(子どもさんが小学生以下)の流入が促進されず、地域の活性化が停滞します。そういう意味でも第二小の存在は重要と考えます。
学校と地域の関係性は在籍中やよほど近隣でないとなかなか疎遠のなってしまう。
左の記述は抽象的で理解できない。特に「コミュニティスクール」については単にイメージとして語が使われていて具体像が見えない。共通認識のための土台としては不十分だ。特に南第二小の地域では、核になる学校の存在が無くなったら地域づくりにどんな影響が出るか不安が残る。
学校が地域の交流の場所になっていますか？
新しく設置されようとしているコミュニティスクールについて、地方教育行政の法律に基づき一定の法的権限が与えられると聞く。「学校運営方針や教職員の任用に意見を出すことができる。」事などを知ると、問題点や懸念を抱く。当然、学校現場は萎縮してしまうことが、想像される。教育の自立性、主体性、主体性を十分に尊重し、学校と地域がよりよい関係であり、子ども達の穏やかな成長・発達を見守る立場での地域でありたいと思う。
家族が小・中学校に通っていないと学校への接点が全くなく、「学校と地域の関係」を考える機会や意見を述べる場がなく実感が全く持てていない事に課題を感じます。
学校は、地域の生活や文化の中心です。萩の台の地から小学校をなくすということは、地域の皆さんの生活に良い影響をおよぼすとは、どうい思えません。
無駄な支出が無きようにして頂きたい。
(5)学校跡地の利活用に関すること
跡地とは・・・二小の方々が怒ってこられると思いますよ。
学校跡地及び施設の活用とも関係するが、学校は防災拠点としての機能があるので、今後起きうる災害を想定した活用方法が重要になってくる。よって統廃校という結論に至ったとしても、システム構築が十分になされた上で行うべきであり、いつ災害が起きても機能できる状態で維持されるべきである。
跡地なんてとんでもない。 第二小をなくさないで。
一般論ではない今の段階では問題外ではないでしょうか。
何も決まっていないと言っているのに、学校の跡地利用、施設の利活用とは、まるでアメをぶら下げて、教育委員会・市の言うとおりにすれば「得ですよ」言っている様で不信感が出てくる！
まず、再編には反対ですが、そうなるのであれば利活用してほしい。子どもの遊び場など。
二小の跡地は、駅前近くにあることから、全市民が利用しやすい公共施設の立地が望まれる。
子どもから高齢者までが集えるような場所になればいいと思います。
廃校に絶対反対なので特にありません。
はじめに統廃合ありきでは困ります。

たぶん再編は、跡地の再利用が先だったのではないかと思います。
2023年頃完成くらいのスパンで。
跡地利用は、地域の方々の意見を十分に尊重してください。
今の学校が跡地か施設になる場合は、耐震等の問題がないか確認して有意義に利用できたらと思います。
宜しく願います。
有効利用は言うまでもないが、有識者をまじえたプロジェクトを組んで、時代を先取りするような有意義な活用を考えて欲しい。
地域に学校再編の了解をとりつけない限り、学校と地域との協働は不可能であり、再編についての話し合いが大切。
無理に無用に箱ものを作る必要はない。施設の転用ならあり。
災害時に活用出来る場所になると良いのではと思います。
老人が増えてゆくの、老人が利用できる施設などを考えてほしいと思います。
開放を希望するが？
地域のコミュニティの場として、イベントをしたりハンドメイド等の活動の場とかに使用してもよさそう。
良いと思います。
○教室や調理室などでワークショップ。 ○図書室の開放 ○体育館は運動チームが使えるように。
子ども達が安心してのびのびと遊べる場所が少ないと感じます。運動場の開放をしてほしいです。
学校敷地となってしまった場合は、引き続き防災拠点と地域の方が一番必要な物を検討できればいい。
奈良県フットボールセンターのようにスポーツ用施設へ。 もしくは大型ショッピングモール。
子ども達が遊べる場所、運動できる場所に。
市負担で無駄な施設等の築造は認めたくない。
(6)特別な配慮を要する児童生徒への対応に関すること
今、学習障害などの児童が以前と比べたいへん増えていると聞きます。親も子ども近くの小学校で安心して通わせたいと思いますよ。
今のまま第二小も南小も存続すれば問題はおきません。
一人の子どもとして育てていくための特別な配慮と指導を充実すべきだと考えますが、学校再編は前提としないことがらです。
学校の統廃合に関係なく支援が必要な子ども達に様々な支援をする事は、あたり前の事である。
移動・学習面において不利益が生じるのは、学校から家が遠い子どもだと思うので、考え方としてそのように書いているのなら、絶対に実行して頂かないと困ります。
特別な支援を要する子や不登校児童生徒の受け入りをしやすい環境づくりが必要ではないか。
特別な児童生徒には移動面や学習面に不利益が生じないようにお願いしたいです。
廃校に絶対反対なので特にありません。
歩いて通学できる学校が必要。
特別な配慮を要する生徒にとって、小規模校の方が①一人ひとりの状況に合わせた細やかな指導が行いやすい②一人ひとりが活躍できる機会が多くなる。大規模校にはそのメリットがない。

本当に考えていただきたい。この再編で不幸になる子どもを出さないで。この信念で。
全ての児童が偏見なく通学できる環境を求めます。
ぜひお願いします。
近隣校の越境通学など、本人や家族はと話し、最善の方策があればと思います。
再編に限らず大切なこと。
それはあたり前。
他の生徒さん達より変化に対応していくのが難しいと思うので、スタッフを変えないとか、慣れるまでは一時的にスタッフを多くするなどの対応策が必要だと思います。当事者家族に意見を聞くのも良いのではと思います。
賛成です。
同感です。
専門家・先生・各対応される機関と相談し対応してほしい。
不利益が生じないように見守る人の数が必要になりそう。
南小側の受け入れの教室をもっと明るく楽しい雰囲気にする。
最近、配慮を要する児童生徒が多くなってきた様ですね。きめ細やかな人間関係を育てていくことや、個性や能力を育てる環境がとりわけ必要です。落ち着いた環境と複数体制で指導する体制が大事だと思います。
タクシーやマイクロバスで送迎されるのでしょうか。配慮を要する児童にとって環境の変化は大きな問題です。特別に教員を増員して学習保障をされるのでしょうか。
環境の変化に敏感な生徒もいると思う。慣れるまでは、担任の先生や補助の先生を多めに配置したら良いと思う。移動面はスクールバスで保護者の負担も少なくなったら良いと思う。(遠い地域の方)
上記の留意すべき事項以外で懸念される課題
生駒南第二小学校の南小学校との統合に反対です。 なぜなら ◆自治体の仕事は住民福祉の向上であり、子どもたちが学ぶ環境を整備することにあります。また、地域コミュニティの核であり、また防災拠点として小学校を維持、整備することは当然です。 ◆「子育てしやすい生駒市」を目指すならば、子どもが安全に通学できる徒歩圏内に小学校があることは必須です。 ◆少人数学級の教育効果が広く認められ国も小学校を35人学級へ移行していく状況で、小規模校をつぶすのは愚策です。 ◆市立小中学校の児童生徒数推計で、令和2年度と比べ令和22年度が28%:言という数字は疑問です。「生駒市公共施設マネジメント推進計画」によれば、同じ期間に0～15歳人口は14%;減にしか過ぎません。もし、この2つの数字が矛盾しないのであれば、0～5歳児が急増することになり、ならばなおさら小学校をつぶす理屈が成り立ちません。 二小をつぶすことを前提とした項目だけの、このアンケートは、市の誤った政策への市民を誘導するものと判断します。
学校がなくなることでの、放課後の子どもたちの生活にこそ留意すべき。 今の規模であれば、子どもたちには十分人間関係の量的豊かさは保障されていると思う。
南第二小学校区では、この基本的な考え方に大反対の運動がおこっていることを知っています。南小も200人に児童が増えると困ります。廃止するといっている校区の住民が大反対している政策は中止にしてください。住民の意見を尊重して下さい。

<p>第二小校区協議会では、全ての委員が強い統合反対の意見を表明されました。パブリックコメントにもかつてない多数の統合反対の意見が表明されたと承知しています。地理的条件・通学条件・地域コミュニティの将来などについては考えれば十分に納得できます。地域の意見を尊重し、第二小の存続を早く決め、充実した教育を進めるよう心から願っています。</p> <p>尚、小中一貫校については、国の主導性は見えてくるものの教育的効果については、批判もあり、効果を図るには多くの要素から検討が必要であるとして疑問もあり、安易に進めるべきものではないと思われまます。</p>
<p>地域協議会の名の元に、民主的に進めている様にされているが、この中に校区の自治会がすべてが入っているのでもなく、また、他の団体も同じで、いろいろ問われても専門家でもないの、わからないとの事も聞きます。この様な問題は、協議会、自治会に丸投げではなく、市が直接各自治会に出かけて説明の場を設け、デメリット・メリットなど明らかにするべきである。これでは、一応住民の意見を聞いていますというアリバイづくりではないかと思ってしまう。</p> <p>○南小の運動場が今でも狭い中、統合すれば更に狭くなる→どう広さを確保するのか？</p> <p>○学童保育AとBの2つあり、コロナ禍の中「蜜」になる、更に南第二小の学童のキボ、どう確保するのか？</p> <p>◎南第二小学校の父兄・地域住民の声を第一に考え、統合すべきではない！</p>
<p>スクールバスが必要となる場合、金銭面がかかる事はもちろん、バスを乗ることが出来ない場合(ケガで歩けないなど)、その場合、車での送り迎えを可能にして頂けるのか。</p> <p>学校行事の時など(参観・運動会)遠い距離の保護者を優先的に確保していただけるのか。</p>
<p>二小・南小を統合し、施設の老朽化対策を兼ねて、新設の校舎を早急に計画し、小中一貫教育を実施できるよう体制を整えられたい。</p>
<p>学校の再編(統合)は、どこの地域(全国的)でもやむなくされていることですが、生駒市としての小中一貫教育の実現に期待するところです。</p>
<p>南小学校は児童数が増えるとうなるのか具体的な説明がない。小中一貫校という言葉も聞くが全く必要がないと考えている。二小の児童数の減少を生駒市人口ビジョンではない推計値で示しているのはどういうことなのか。少子化対策は初めから失敗すると言っているようなものである。通学するのにも危険なのに「子どものために」というのは非常に違和感を覚える。今回提示された生駒市の教育に対する考え方には本当に失望した。未就学児を持つ親としては非常に不安だ。</p>
<p>統廃合に関する問題は、その地域住民によく説明し合意がとれるかどうかです。</p>
<p>南小に2人の子どもが通っているが、今のクラス数、人数が良いと思う。担任の先生以外の先生や教頭先生からも親の顔も知ってもらっている、親の安心感がある。学校統廃合と話は違っていると思うが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園が少なく感じる ・南中のトイレが和式と聞いて驚いた。公衆トイレでも洋式が多いのに。早く洋式トイレにしてあげてほしい。
<p>反対意見が多い中、それに対する具体的な対策案が少ないように思います。</p>
<p>3校に分離する前の南小を思い出します、児童・生徒の幸せのため、学習環境、生活環境が変化しないよう再編には反対です。</p>
<p>南小と南第二小の再編・統合に反対です。私は南小校区に住んでいますが、地域の教育・文化の拠点として長い歴史を刻んできた小学校が無くなるかも知れない南第二小校区の住民の方々のことを思うと決して他人事ではありません。経済効率性では割り切れない大切なことがあります。「望ましい規模」とはヨーロッパ先進国のように1クラス25人程度の学級を実現することではないでしょうか。</p>
<p>教育委員会の考え方には理解できるが、地域から小学校が無くなるとすれば猛反対をくらはうのは明らかである。十分な協議は必要であるが、何年後とか、跡地をどうするのか具体的なビジョンを示さない限り、話は絶対反対で終わってしまうだろう。教育委員会としては、協議不調として速やかに市長部局対応とされるのが良いと思います。</p>
<p>児童数の減少による隣接校との再編はやむを得ないことです。税金を大切に使いましょう。将来のことも考えましょう。</p>
<p>中学生になると部活動も有るので、学校教育や行事以外にも考えてあげてほしいです。また(2)でも書きましたが、制服や体操服なども本人達にとっては大事な問題になると思います。</p>
<p>考えて考えて進んでいらっしゃるお話だと思えます。小学校高学年～中学校の間は、人として一生の間でもその後の人生の中で基礎となる人と人の付き合いの上での距離間を学ぶ(成功・失敗)時だったと思えます。より良い方向に進まれた結果に出来る限り協力させていただきたいと思えます。</p>
<p>教育委員会に概ね賛成です。</p>

「…に配慮して検討していく」「…必要な対応策を講じていく」が言葉だけにならないよう、あらゆる角度から話し合いをきちんと進めてほしいと思います。
関係地域の人に意見を聞いて再編を考えることについて、敬意を払います。様々な意見を聞いて事柄を進めることにはエネルギーと時間がかかりますが、話し合うことが前に進む1歩と思います。
(1)の移動手段にかかる費用は、市負担・補助をする。
小中の教育は本人の一生を通じ大変重要な時である。
南中の人数が少ないので部活動が少ないというのも聞くので、やはり、南中の数を増やしてほしい。
子ども達が良い環境で生活を送るには、生徒数が多い際のメリット・少ない際のデメリットが生じることをイメージできれば再編への理解が得られる。第三者からのプレゼンと合わせて説明会を実施する。
望ましい学校規模というのは、一般的な考え方です。「今の第二小がどうあるのか?」という議論が抜けています。第二小の児童・保護者・先生方の意見をしっかりと聴くということが、まず第一です。特に現場で担任をしておられる先生方の率直な意見を踏まえ、メリットの部分が大きいとのことであれば、小規模校のモデル校(実験校)として維持し、全国に発信してはいかがでしょうか。生駒市の魅力はますます向上すると考えます。
南小学校・南中学校の老朽化はどのような状況でしょうか?
生駒南第二小は、他の(他府県の)市町村の小学校に比べ、学校再編(統合)する規模の小学校ではないと思います。生駒市は高低差の大きい街ですし、統合してしまうと児童や保護者の負担がかなり増えるのではないかと予想されます。学校再編(統合)には反対です。
少子化になることが原因なら、少子化にならないよう、子育て支援を見直したり(保育待機児童ゼロだが、空いているところは通えない所ばかり)、生駒に住む人をもっと呼び込むことも、同時に力を入れるべき。財政の問題なのでしょうが、もっと子どもが増えるにはどうすれば良いのか、現子育て世代の人にアンケートなり取って。少子化を解消する方のアプローチをもっとすべきではないか。
孫が近大奈良病院に長期入院することとなった時、南第二小より、院内学級への教員配置があり、とても有難かった。今後、南第二小が無くなれば、そういう対応はどうなるのか。教育委員会に教員を確保し長期でなくても、小中学生の入院時に学習する場を与えて欲しい。
小中一貫教育で児童数を確保する前に校区割の見直しもして欲しいです。
全体的に言えば、ひとつひとつの問いが答えにくく、思うがまま書きました。立場が違くと答えにくいのはあたりまえと思いました。統合ありきを前提としたこのようなアンケートは南小校区の地域住民の要求なののでしょうか。「受け入れる側」としては、相手側の気持ちを尊重したいと思います。地域に小学校が無くなれば、地域はすたれていく。各地で起こっている現象ではないのでしょうか。南第二小の存続を望みます。
地域の皆さまに納得する説明とスピーディーな対応をお願いします。
南小学校と南第二小学校の再編には反対です。学校は地域コミュニティの中心です。それを守っていくことが行政の仕事です。
40人学級であれば二小は小規模校になるが、コロナで蜜を避けたり、子どもに手厚い教育を受けさせるため20人学級にすれば小規模校ではなくなると思う。地域から小学校が無くなれば、周りの住宅地は衰退していくのではないのでしょうか。生駒市は子育てに力を入れているので、これから子どもが増えていくのでは…。
南小をもう少し綺麗にできたら(予算とか大変かもですけど)生徒達のモチベーションも上がり、学校選択制(隣接地域)からも来るかもしれません。
中学校区について、南中と大瀬中のクラス数の偏りがあり過ぎると思います。南小学校区の子どもは、南中学校に通学できるようにして、部活動等がもっと選択できるようにしてほしい。